



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月8日

上場会社名 レイズネクスト株式会社
 コード番号 6379 URL <https://www.raiznext.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉川 善治

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 小林 敬典

TEL 045-758-1950

四半期報告書提出予定日 2019年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	58,216	32.9	4,202	17.1	4,332	16.9	8,327	240.0
2019年3月期第2四半期	43,789	2.8	3,588	1.7	3,706	0.2	2,449	0.8

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 8,383百万円 (190.2%) 2019年3月期第2四半期 2,889百万円 (6.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	165.83	
2019年3月期第2四半期	52.98	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	101,945	64,433	62.3	1,172.28
2019年3月期	80,155	47,988	58.8	1,019.39

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 63,499百万円 2019年3月期 47,123百万円

『税効果会計に係る会計基準』の一部改正を当第1四半期連結会計期間の期首から適用したため、2019年3月期においては遡及適用後の数値を記載しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		46.00	46.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	140,000	43.8	7,500	2.4	7,650	3.6	10,250	96.2	189.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 有
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	54,168,053 株	2019年3月期	46,310,892 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	225 株	2019年3月期	83,911 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	50,219,101 株	2019年3月期2Q	46,227,290 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の数値は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(2019年4月1日～2019年9月30日)におけるわが国経済は、輸出を中心として弱さが長引くとともに生産についても弱含みの中にあり、また、製造業を中心として企業の景気判断には慎重な姿勢が増す状況にありました。しかしながら、企業収益は底堅く推移し、設備投資も緩やかな増加傾向にあり、全体的には緩やかな回復基調で推移しました。

海外経済では、全体としては緩やかな回復基調が続きましたが、米中の通商問題の増大や中国経済の先行きの懸念、英国のEU離脱問題の長期化など、景気の下振れリスクを伴う不確実性のある中で推移しました。

当社グループを取り巻く事業環境につきましては、石油業界では、国内の石油需要はエネルギー構造の変化や少子化、省エネ化などの進展を受けて減少傾向が続く見通しであるものの、エネルギー供給構造高度化法への対応により精製能力が削減され、製油所の稼働率も高水準で推移しました。石油化学業界では、足元ではエチレンプラントの高水準の稼働が維持されたものの、合成樹脂の国内出荷の落ち込みや米中貿易摩擦、中国経済の減速もあり、調整局面の中で推移しました。非鉄金属業界は、銅価格の下落、電子材料向け製品の需要調整などにより、減速基調にありました。

当社グループでは、当期(2020年3月期)も定期修理工事が引き続き堅調に推移する見込みであり、これらの受注の確保と工事の円滑な進捗に取り組みました。あわせて、プラント強靱化対策工事、改造・改修工事、高機能製品生産の新規プラント建設工事などの受注を最優先に取り組むとともに、人手不足による外注加工費の上昇の中にもありましたが、直接工事費の原価低減、経費の削減などにより収益の確保に努めてまいりました。

7月1日より新興プランテック株式会社とJXエンジニアリング株式会社が経営統合し、レイズネクスト株式会社として発足し、当第2四半期連結累計期間が経営統合後の初めての決算となります。当第2四半期連結累計期間における業績につきましては、経営統合前の新興プランテック株式会社との前年同期との対比となりますが、受注高はJXエンジニアリングの経営統合前の受注残高をレイズネクスト株式会社の受注高として受け入れたことにより、前年同期比96.7%増の1,010億9千万円、完成工事高は前年同期比32.9%増の582億1千6百万円となりました。また、経常利益は43億3千2百万円(前年同期比16.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、特別利益において経営統合によって生じた負ののれん発生益を計上したことから大幅に増加し、83億2千7百万円(前年同期比240.0%増)となっております。

受注高の工事種類別内訳

(単位：百万円)

受注高		2019年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	前年比	増減率
エンジニアリング業	日常保全工事	11,419	15,281	3,861	33.8%
	定期修理工事	22,610	26,328	3,717	16.4%
	改造・改修工事	13,644	29,270	15,625	114.5%
	新規設備工事	3,724	30,211	26,486	711.1%
合計		51,399	101,090	49,691	96.7%

完成工事高の工事種類別内訳

(単位：百万円)

完成工事高		2019年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	前年比	増減率
エンジニアリング業	日常保全工事	11,029	13,490	2,461	22.3%
	定期修理工事	21,190	24,573	3,383	16.0%
	改造・改修工事	8,578	15,017	6,438	75.1%
	新規設備工事	2,914	5,063	2,148	73.7%
その他		76	71	△5	△6.6%
合計		43,789	58,216	14,426	32.9%

※その他は、不動産の賃貸、保険代理店業務などであります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、1,019億4千5百万円で前連結会計年度末より、217億8千9百万円増加しました。これは、現金及び預金が113億4千8百万円減少したものの、受取手形・完成工事未収入金が135億2千9百万円、未成工事支出金が118億7千2百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

負債合計は、375億1千2百万円で前連結会計年度末より、53億4千4百万円増加しました。これは、電子記録債務が8億5千万円、未成工事受入金が5億8百万円、工事損失引当金が9億9千5百万円、退職給付に係る負債が16億5千4百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

純資産は、644億3千3百万円で前連結会計年度末より、164億4千4百万円増加しました。これは、資本剰余金が101億5千6百万円、利益剰余金が62億1百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

2020年3月期の通期業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の実績および今後の見通しを勘案し、本日公表の「2020年3月期第2四半期累計期間業績予想と実績値との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、連結、個別とも2019年9月26日公表の予想数値を修正しております。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,954,338	5,605,709
受取手形・完成工事未収入金	38,837,826	52,367,411
電子記録債権	1,012,733	431,291
未成工事支出金	6,020,514	17,893,083
その他	196,397	3,002,447
貸倒引当金	△13,830	△15,136
流動資産合計	63,007,979	79,284,806
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,848,153	3,382,355
土地	7,186,383	8,067,423
その他（純額）	1,034,891	1,394,952
有形固定資産合計	11,069,428	12,844,731
無形固定資産		
無形固定資産	271,217	1,094,904
投資その他の資産		
投資有価証券	4,881,362	5,487,794
長期前払費用	11,849	12,373
繰延税金資産	758,854	2,937,478
その他	277,608	462,449
貸倒引当金	△122,520	△179,319
投資その他の資産合計	5,807,155	8,720,776
固定資産合計	17,147,801	22,660,412
資産合計	80,155,780	101,945,219

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金	12,489,440	12,670,990
電子記録債務	11,229,960	12,080,361
短期借入金	205,004	243,256
未払法人税等	2,057,373	1,814,021
未成工事受入金	535,705	1,043,881
工事損失引当金	—	995,631
完成工事補償引当金	120,350	113,429
賞与引当金	1,255,014	1,492,899
役員賞与引当金	4,000	2,880
その他	1,949,002	3,070,730
流動負債合計	29,845,851	33,528,082
固定負債		
長期借入金	53,447	35,859
繰延税金負債	1,153	2,634
役員退職慰労引当金	93,377	87,758
退職給付に係る負債	1,984,577	3,638,669
その他	188,932	219,213
固定負債合計	2,321,488	3,984,135
負債合計	32,167,339	37,512,217
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,754,473	2,754,473
資本剰余金	1,688,884	11,845,004
利益剰余金	41,686,932	47,888,440
自己株式	△40,216	△275
株主資本合計	46,090,073	62,487,642
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,315,059	1,204,421
繰延ヘッジ損益	—	14,337
為替換算調整勘定	△79,921	△69,987
退職給付に係る調整累計額	△201,857	△137,275
その他の包括利益累計額合計	1,033,280	1,011,496
非支配株主持分	865,087	933,862
純資産合計	47,988,441	64,433,001
負債純資産合計	80,155,780	101,945,219

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
完成工事高	43,789,466	58,216,465
完成工事原価	38,228,215	50,646,904
完成工事総利益	5,561,251	7,569,560
販売費及び一般管理費	1,972,779	3,367,175
営業利益	3,588,472	4,202,385
営業外収益		
受取利息	1,225	2,073
受取配当金	65,812	69,979
受取賃貸料	45,859	46,297
その他	38,519	61,337
営業外収益合計	151,417	179,687
営業外費用		
支払利息	2,242	5,843
賃貸費用	5,411	5,426
為替差損	17,181	25,796
その他	8,056	12,603
営業外費用合計	32,892	49,668
経常利益	3,706,996	4,332,403
特別利益		
固定資産売却益	1,331	83
負ののれん発生益	—	5,531,316
特別利益合計	1,331	5,531,399
特別損失		
固定資産売却損	55	4,293
固定資産除却損	140	9,699
特別損失合計	195	13,992
税金等調整前四半期純利益	3,708,132	9,849,811
法人税等	1,211,056	1,442,736
四半期純利益	2,497,075	8,407,074
非支配株主に帰属する四半期純利益	47,899	79,125
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,449,175	8,327,949

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	2,497,075	8,407,074
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	358,568	△112,588
繰延ヘッジ損益	—	14,337
為替換算調整勘定	△5,635	9,933
退職給付に係る調整額	39,180	64,581
その他の包括利益合計	392,113	△23,734
四半期包括利益	2,889,189	8,383,340
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,840,314	8,306,164
非支配株主に係る四半期包括利益	48,874	77,175

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,708,132	9,849,811
減価償却費	217,883	288,625
のれん償却額	4,229	21,510
負ののれん発生益	—	△5,531,316
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△741	605
完成工事補償引当金の増減額(△は減少)	11,450	△104,538
工事損失引当金の増減額(△は減少)	△1,600	△17,872
賞与引当金の増減額(△は減少)	△393,335	△56,067
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,720	△1,120
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△6,693	138,573
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	8,794	△5,618
受取利息及び受取配当金	△67,037	△72,052
支払利息及び手形売却損	2,254	5,843
為替差損益(△は益)	15,072	15,457
固定資産売却損益(△は益)	△1,276	4,209
固定資産除却損	140	9,699
売上債権の増減額(△は増加)	△1,728,585	5,521,255
未成工事支出金の増減額(△は増加)	△5,979,391	△6,585,878
仕入債務の増減額(△は減少)	4,276,334	△3,393,340
未成工事受入金の増減額(△は減少)	1,062,741	△358,197
未払消費税等の増減額(△は減少)	168,055	△868,616
その他	267,393	△788,514
小計	1,562,099	△1,927,543
利息及び配当金の受取額	67,037	72,052
利息の支払額	△2,254	△5,843
法人税等の支払額	△445,950	△1,690,629
法人税等の還付額	17,547	349,832
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,198,481	△3,202,132
投資活動によるキャッシュ・フロー		
長期性預金の預入による支出	△2,005	△2,005
有形及び無形固定資産の取得による支出	△214,514	△453,201
有形及び無形固定資産の売却による収入	1,653	428
投資有価証券の取得による支出	△4,562	△5,221
貸付けによる支出	△140	△7,002,060
貸付金の回収による収入	1,070	1,030
その他	△8,696	△2,943
投資活動によるキャッシュ・フロー	△227,196	△7,463,973

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△18,000	42,000
長期借入金の返済による支出	△19,002	△21,336
自己株式の取得による支出	△315	△275
配当金の支払額	△1,800,212	△2,126,350
非支配株主への配当金の支払額	△2,000	△8,400
その他	△2,490	△7,001
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,842,020	△2,121,363
現金及び現金同等物に係る換算差額	△17,390	△3,501
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△888,126	△12,790,969
現金及び現金同等物の期首残高	9,456,464	16,821,715
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	121,567	622,163
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	818,172
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,689,906	5,471,080

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

JXエンジニアリング株式会社を吸収合併したことに伴い、当第2四半期連結累計期間において資本剰余金が101億5千6百万円増加、自己株式が3千9百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末において資本剰余金が118億4千5百万円、自己株式が△0百万円となっております。

(会計方針の変更)

(税金費用の計算方法の変更)

従来、当社及び国内連結子会社における税金費用については、年度決算と同様の方法により計算しておりましたが、2019年7月1日にJXエンジニアリング株式会社を吸収合併したことに伴い、四半期決算業務の会計処理の統一化により一層の効率化を図る施策の一つとして、当第2四半期連結会計期間より、連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法に変更しております。

なお、この変更による影響は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

当連結グループは、報告セグメントがエンジニアリング業のみであり、当連結グループの業績における「その他」の重要性が乏しいため、記載を省略しております。なお、「その他」は不動産の賃貸、保険代理店業務などであります。

当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当連結グループは、報告セグメントがエンジニアリング業のみであり、当連結グループの業績における「その他」の重要性が乏しいため、記載を省略しております。なお、「その他」は不動産の賃貸、保険代理店業務などであります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

エンジニアリング業において、JXエンジニアリング株式会社を吸収合併したことに伴い、負ののれん発生益55億3千1百万円を計上しております。